

## ベネッセ文教総研 設立のご挨拶

平素は、弊社ならびに弊社の学校事業活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、学校教育のシンクタンク組織として、ベネッセ文教総研を設立いたしましたので、その旨、ご挨拶申し上げます。

ベネッセコーポレーションの前身である福武書店の創業者、福武哲彦は、かつて小学校の教師でした。その経験から、創業者は常に、「学校は2つの役割を担っている。1つは、今の生徒を育む役割。もう1つは、将来を見通しながら教育のあり方、形を考え、実践する役割だ。だからこそ、『半歩現実・半歩未来』が、学校支援を行う我々の基本スタンスなのだ」と申しておりました。

学校が今、対応すべき課題は、「大学入学共通テスト」実施初年度入試を始めとして、with コロナにおける学校運営やクラス経営、教科指導、特別活動、さらには新たな教育手法・指導モデルへのチャレンジと、枚挙に暇がありません。と同時に、新学習指導要領に基づく教育課程の編成の準備と実施、その先の大学入試への対応といった未来課題についても考える必要があると拝察しております。

そうした課題感から、地域に成り立つ学校として、将来を生きる生徒のために、どのような役割を果たすべきか、学校経営・運営のあり方を校内でどのように整理していけばよいのか、学校が抱える、今と未来の課題への取り組みに微力ながらも貢献すべく、ベネッセ文教総研を設立いたしました。その活動の柱は、学校経営・運営や先生方の指導力の向上に特化した研究と、その成果をエビデンスとした情報発信になります。具体的な活動計画は、今後、本誌『VIEW21』などを通じてお伝えしてまいります。

ベネッセ文教総研からの提言・提案も含めた発信、学校現場の実践をお伝えする『VIEW21』や先生方の活動をご支援するベネッセハイスクールオンライン、そして全国の支社からの訪問活動と、トータルに学校をご支援してまいりたいと考えております。これからも、先生方からのご意見を踏まえながら、「半歩現実・半歩未来」のスタンスで活動してまいります。引き続き、ご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

ベネッセコーポレーション  
学校カンパニー長  
山河健二

今号では、連載コーナー「-疑問や課題を解決！ 実践につながる！-新課程レポート」(P.67～71)におきまして、ベネッセ文教総研が作成した、「高校現場における新学習指導要領に基づく教育課程（以下、新教育課程）の検討の流れ」と「新教育課程編成における検討ポイント」を掲載しておりますので、新教育課程編成のご検討の際にお役立ていただけますと幸いです。